



経済システム学 I

福岡大学 研究推進部 教授
堀 史郎

社会の動きを的確に知ったうえで、社会が求める課題に対応していくためには、社会を動かす経済システムを理解することが不可欠である。とりわけ、グローバル化する経済の動きをフォローし対応するためには、国際経済学という学問体系を履修することによって導かれる。国際経済学は、現在もっともホットな 이슈を提供する分野である。

本講義においては、この国際経済学の基本原理である、リカードの比較優位原則、ヘクシャーオリーン定理という2大定理を理解してもらうことから始める。リカードの比較優位の原則は、なぜ、貿易によって富が生まれるのか、なぜ、自由貿易が望ましいのかを、説明する経済学で最も重要な原理の一つである。この原理は、貿易のみならず、すべての事業活動の効率化の観点からそれぞれのプレイヤーが分業を行うことの重要性を説明する。

現代社会は、各国が置かれた初期条件によって規定されるのではなく、各国はそれぞれの富を増加させ、国富や産業を強化するための施策を行う。これを説明するのが、開発経済学、産業組織論、貿易政策、科学技術政策、といった政策群であり、それぞれの

分野での、経済理論が構築されている。本講義では、これらの経済理論の説明と共に、実際のデータや事象を引用しながら解説を行っている。

こうした、経済理論を理解することは、将来的な経済予測や政策の有効性を判定するうえで重要なツールとなり得るが、ともすれば抽象的な経済理論は、経済学の専門家か実業の経験がなければ、その理論が実態社会においてどのように適用されるか想像しにくい。したがって、理論的な説明と共に、実際のビジネスの事例やデータなどでそれを検証してみることも重要な作業である。

また、学生が実際に演習の形で問題を考えることや、学生間でその解決方法について議論してみることも重要である。議論を行う際には、議論のベースとなるルールやディシプリンが重要である。そういう共通の基盤をベースとしながら社会的な課題について議論を行うことにより、理解が高まるであろう。本講義では、こうした実際のデータの活用、提出された問題についての議論、課題へのレポートを含む実践的教育を心掛けている。

